

北海道洞爺湖サミット関連環境展示会での 新日鉄展示に大きな反響

本年7月7～9日にかけて、北海道洞爺湖地域で開催されたG8主要国首脳会議にあわせて、全国各地で関連公式行事が行われた。新日鉄は、G8環境大臣会合に伴う環境展示会である「環境フェア in KOBE」(兵庫県神戸市中央体育館、5月23～26日)、およびサミット直前公式行事の「北海道洞爺湖サミット記念 環境総合展2008」(北海道札幌市札幌

ドーム、6月19～21日)に出展して、環境にやさしい「エコプロダクツ」(鉄鋼製品)、環境に配慮した「エコプロセス」(製造工程)、これらを活用した「エコソリューション」(省エネルギー・環境問題の解決提案)の3つの視点から、当社の地球温暖化問題への取り組みや、環境技術を紹介して大きな反響を得た。

環境フェア in KOBE (兵庫県神戸市中央体育館、5月23～26日)

「環境フェア in KOBE」(主催：兵庫県、環境省、経済産業省等)は、G8環境大臣会合に伴う公式行事として開催された。今回のフェアは、北海道洞爺湖サミットに先立って実施されたG8環境大臣会合に併せて開催することで、多くの一般市民への環境問題の普及・啓発を図るとともに、環境に関するさまざまな展開につなげることを目的としたもの。

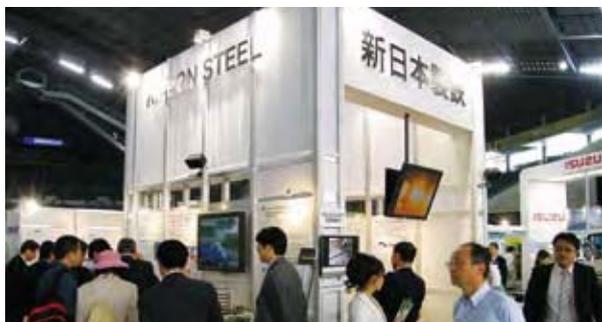
当社ブースでは、地元の広畑製鉄所(兵庫県姫路市)で行っている、全国で発生する廃タイヤの約10%を再資源化する廃タイヤリサイクル、同製鉄所の主力製品のひとつであり、ハイブリッドカーのモーターに不可欠な高機能電磁鋼板、自動車の軽量化を支える高強度自動車用鋼板(ハイテン)の実物や模型などを展示した。また、1971年以来、当社の全国の製鉄所で行っている「郷土の森づくり」や鉄鋼スラグを活用した沿岸の磯焼け改善プロジェクト「海の森づくり」など、さまざまな環境への取り組みをコンパクトにわかりやすく紹介した。鴨下環境大臣、井戸兵庫県知事も来訪され、展示の説明に熱心に耳を傾けていた。



北海道洞爺湖サミット記念 環境総合展 2008 (北海道札幌市札幌ドーム、6月19～21日)

「北海道洞爺湖サミット記念 環境総合展2008」は、北海道庁・産業界・環境関連団体が共同で開催し、「環境立国・日本」をアピール。環境問題に対する市民の関心の深さやサミット行事への参加意識の高さから、ビジネスマンのほか、家族連れや学生など約8万4,000人が来場した。

当社は、「環境先進企業としての地球温暖化問題への貢献」をテーマに出展。高機能電磁鋼板やハイテン、ニッテツスーパーフレーム®工法の展示のほかに、室蘭製鉄所(北海道室蘭市)で製造する特殊鋼棒鋼・線材などの高機能商品や、当社製鉄所の持つ世界トップレベルの省エネルギー技術、地域社会と連携した循環型社会構築への取り組みである廃プラスチックリサイクル事業などを紹介するとともに、新日鉄エンジニアリング(株)の地中熱を利用した空調設備の研究開発案件である「NSエネパイル」や、(株)新日鉄都市開発の環境共生住宅の模型を展示した。3日間で合計約3,000人が当社ブースを訪れ、盛況だった。



ウジミナス社拡張投資計画について—イパチング近郊サンタナ・ド・パライズ地区に3番目の製鉄所を建設

当社の南米におけるアライアンスパートナーであり、持分法適用関連会社であるウジミナス社が、現在実行中の拡張計画の修正について発表した。

昨年、同社はイパチング製鉄所構内で、320万t/年の鉄源能力拡張計画を発表したが、ブラジル国内鉄鋼需要のさらなる拡大、自社鉄鉱山の買収などの状況変化を反映し、従来の計画を拡大修正し、イパチング製鉄所に近接

するサンタナ・ド・パライズ地区で、500万t/年の鉄源製鉄所を建設することを決定した。同社は2012年までに総額141億USドルの投資を行い、これにより鉄源能力拡張・圧延能力増強・鉄鉱山買収およびその拡張が実行され、ブラジル国内におけるリーダーシップの確立と、国際化に向けた基盤強化が達成される。当社も、全社を挙げてウジミナス社を支援し、両社の企業価値の向上を図る。



イパチング製鉄所 ©Usiminas

<ウジミナス社拡張投資計画の概要>

1) サンタナ・ド・パライズ地区での鉄源能力拡張

- ・立地：イパチング製鉄所（ミナス・ジェライス州）から約7km離れた場所。既存インフラ・物流システムの活用が可能。
- ・投資額：57億USドル（見通し）
- ・スケジュール：2011年前半の第1高炉稼働時に250万t/年、2012年の第2高炉稼働時に500万t/年の鉄源能力となる。

2) クバトン製鉄所での鉄源能力拡張

サンタナ・ド・パライズ地区での鉄源能力増強に加え、ウジミナス社はクバトン製鉄所（サンパウロ州）隣接地を候補地とする300万t/年の新鉄源製鉄所の具体化について継続検討中。

3) 圧延能力増強

- ・イパチング製鉄所厚板：50万t/年増強
- 熱延：15万t/年増強など

4) 鉄鉱山買収・拡張および港湾ターミナル用地購入

- ・クバトン製鉄所
新熱延：第1段階で230万t/年（拡張後480万t/年）
- ・ウニガル（新日鉄とウジミナス社の自動車用亜鉛めっき鋼板製造JV）
新第2溶融亜鉛めっきライン建設：55万t/年
- ・セラ・アズル地区のJ-メンデス鉄鉱山を買収。鉄鉱石生産能力は、現状の500万t/年から、2013年までに2,900万t/年に拡大する予定。
- ・リオ・デ・ジャネイロ州セペチバ湾沿いに85万m²の敷地を購入。鉄鉱石および製品の港湾ターミナルの建設を計画。

お問い合わせ先 広報センター TEL 03-3275-5021～5023

鉄ダスト系副産物の有効活用による省資源・省エネルギーの推進

鉄ダスト系副産物のリサイクルで世界最大の能力（31万t/年）を有する回転炉床式還元炉（Rotary Hearth Furnace以下RHF）が、君津製鉄所で本格稼働した。

RHFは、製鉄工程で発生する酸化鉄や亜鉛を含む鉄ダスト系副産物をドーナツ型の回転炉で高温還元し、還元鉄の製造と同時に亜鉛などの金属類を分離回収する設備。これまで亜鉛などを含む鉄ダスト系副産物を製鉄プロセスで直接利用することは困難だったが、RHFでは亜鉛などの非鉄金属類の分離を行うことにより100%有効活用することが可能となる。RHFで還元処理した還元鉄を製鉄プロセスに、回収亜鉛を非鉄プロセスに戻して活用することで、ゼロエミッションが実現するととも

に、鉄鉱石や亜鉛鉱石、還元用の石炭、コークスなどの資源、エネルギーの削減が可能となる。

当社は、これまで君津製鉄所で2基、広畑製鉄所で2基のRHFを稼働させており、今回の君津No.3 RHFの本格稼働により、「ゼロエミッション」「省資源」「省エネルギー」の体制が一層進展することになる。

さらに現在建設中の広畑No.3 RHFが稼働すると、製鉄所で発生する鉄ダスト系副産物を全量再資源化する体制が整うことになる。資源・環境問題への対応が重要性を増している中、鉄ダスト系副産物の有効活用による省資源効果は鉄鉱石換算で年間224万t、省エネルギー効果はCO₂換算で年間約80万tになる。

当社は、高いエネルギー効



君津No.3 RHF

率と環境負荷の少ない製鉄プロセスを活かし、社内発生副産物の有効活用のみならず、廃タイヤや廃プラスチックなど、社会や他産業で発生する未利用資源の再資源化を実施している。資源不足・高騰、

地球温暖化への関心が高まる中、当社製鉄所のポテンシャルを最大限活用し、今後も社会全体での天然資源の使用量抑制・削減、省エネルギーやCO₂の排出抑制を積極的に推進していく。

お問い合わせ先 広報センター TEL 03-3275-5021

岩手・宮城内陸地震被害への義援金について

6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震について、新日鉄では被災された地域の早期復興を願い、岩手県および宮城県

に300万円の義援金を寄付することを決定した。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

君津製鉄所 累計出鉄量 3億t達成

7月9日、君津製鉄所の累計出鉄量が3億tを達成した。1968年11月の第1高炉の初出鉄から39年9カ月での記録達成であり、3億t達成は当社の製鉄所としては初。

君津製鉄所は当社で唯一高炉3基を保有する製鉄所であり、今後も高位安定操業を継続し、旺盛な鉄鋼需要に応えていく。



お問い合わせ先 広報センター TEL 03-3275-5021

<3億tまでの歩み>

| | 達成年月 | 所要年月 | 1億t所要年月 |
|-------|----------|--------|---------|
| 1億t達成 | 1985年4月 | 16年6カ月 | 16年6カ月 |
| 2億t達成 | 1997年10月 | 29年 | 12年6カ月 |
| 3億t達成 | 2008年7月 | 39年9カ月 | 10年9カ月 |

(株)新日鉄都市開発・新日鉄住金ステンレス(株) 提案の共同住宅が、超長期住宅先導的モデル事業に採択

(株)新日鉄都市開発と新日鉄住金ステンレス(株)が提案した共同住宅、「(仮称)グランリビオ高見式番館」が国土交通省「平成20年度第1回超長期住宅先導的モデル事業(※)」に採択された。

当案件は、新日鉄住金ステンレス(株)が開発した高耐久のクロム系ステンレス異形鉄筋を採用することにより、建物の耐久性を飛躍的に向上させるなど先導的な材料・技術・システムを積極的に導入し、「先駆的な超長期住宅」の実現

に向けた取り組みを実践している。

※超長期住宅先導的モデル事業：「いいものをつくってきちんと手入れして長く大切に使う」というストック社会における住宅のあり方について、具体的内容をモデルの形で広く国民に提示し、技術の進展に資するとともに普及啓発を図ることを目的として創設された。平成20年度第1回提案募集は2008年4月11日～5月12日の期間で行われ、最終的に603件の応募があった中から40件が採択された。



〔(仮称) グランリビオ高見式番館〕完成予想図

お問い合わせ先
 (株)新日鉄都市開発 総務部 TEL 03-3276-8800
 新日鉄住金ステンレス(株) 企画部 TEL 03-3276-4848

新日鉄ソリューションズ(株)が(株)資生堂の新マーケティング・システムを構築、本格稼働

新日鉄ソリューションズ(株)は、(株)資生堂の新マーケティング・システムを構築し、6月から国内化粧品事業において全面稼働を開始した。

資生堂は、2008年から始まる「新3カ年計画」において、「グローバルSHISEIDOブランドの育成強化」「アジアでの圧倒的な存在確立」などに取り組み、持続的な成長確保とシェア拡大を目指している。また、現在27に集約した育成ブラン

ドを、今後は6つのメガブランド、5つのリージョナルブランドを含め合計21ブランドに絞り込む予定である。これら取り組みの中で、マーケットの分析をタイムリーに行う体制が不可欠となるほか、マーケティング・システムは、一昨年のファイントイレタリー事業組織の見直しや、今後発生する組織、商品、商流、物流の変更にスピーディに対応することが求められており、

今回のシステム刷新につながった。

新日鉄ソリューションズが構築した新マーケティング・システムでは、資生堂の取引先約10万店の出荷およびPOS(Point Of Sale、販売時点)データの情報を統合し、ユーザー

が販売データをタイムリーに分析できるようになった。その結果、月次処理などを待たずに、ほぼリアルタイムで売上・損益・在庫などの経営情報が把握可能となり、資生堂におけるビジネスのスピード化、価値創造の促進が期待できる。

お問い合わせ先
 新日鉄ソリューションズ(株)
 流通・サービスソリューション事業部 営業部 高橋 TEL 03-5117-6040
 E-mail : bi-marketing@iss3.ind.ns-sol.co.jp



さらなる広がりを見せるニッテツスーパーフレーム® 工法

「エコあったかい！」を推進する「(株) スーパーフレーム北海道」を設立

(株)上村オール建材、(有)山栄デザイン、日鉄商事(株)、北海鋼機(株)の4社は、新日鉄が開発したニッテツスーパーフレーム®工法(以下NSF工法)の北海道事業拠点となる(株)スーパーフレーム北海道を設立した。同社は、NSF工法の営業PR・設計コンサルティング・必要部資材の販売およびNSF工法の評認定事務などの機能を、道内でNSF工法を利用する建設事業者や設計事業者を提供していく。

北海道洞爺湖サミットが開催された本年に営業をスタートさせ、道内でNSF工法を利用いただくお客様にとって、利便性の高いサービスを提供し、耐久性・耐震性・省エネルギー性などの住宅性能において優れたパフォーマンスを発揮する「エコあったかい！」NSF工法の普及拡大を図る。

当社はNSF工法の全国展開戦略として、各地の拠点パートナーとともに普及推進させていく事業方針であり、同社を

北海道の事業拠点として位置付け、道内でのさらなる工法普及を目指す。



<会社概要>

会社名：株式会社スーパーフレーム北海道

資本金：500万円

((株)上村オール建材65%(経営・営業)、

(有)山栄デザイン20%(設計)、日鉄商事(株)10%(部資材流通)、北海鋼機(株)5%(営業提携))

本社所在地：北海道江別市上江別447-1 北海鋼機(株)構内

お問い合わせ先
(株)スーパーフレーム北海道 TEL 011-382-2100

過去最大規模の「第7回NSF工法連絡会」を開催

7月11日、当社住宅建材開発グループは、NSF工法の普及拡大に向けた、工法契約者を対象とした「第7回NSF工法連絡会」を本社ビルで開催した。過去最大規模の50社100人が出席し、NSF工法の普及状況、利便性向上に向けた取り組み、短工期や低コストなどのメリットをまとめた「NSF工法の優位性の経済評価」の紹介に加え、資材メーカーや契約者の建築事業者からの提案や事例紹介などが報告された。

NSF工法は事業開始から10年を経て、累計8,000棟超を受注・建設している。用途は、当初の一般戸建住宅から、現在は耐火建築、寮・社宅、店舗・賃貸マンションなどの事業用

に拡大し、最近では大規模な寮・社宅を建築するなど、受注拡大を推進している。

今回、同工法の普及に貢献した会社を表彰する「NSFアワーズ」を新設。

太平工業(株)、(株)メトリー、新たに設立された(株)スーパーフレーム北海道など5社に感謝状を贈呈、会場は大盛況だった。



「構造評定」取得でさらなる利便性の向上

NSF工法は、(財)日本建築センターの「構造評定」「建築基準法施行規則第1条の3第1項による図書省略の国土交通大臣認定」を取得する。同認定に適合した構造である建築物は、

構造計算に関わる審査を簡略化することが可能となり、構造計算適合性判定についても不要となることから、建築確認申請期間のさらなる短縮が期待される。

ニッテツスーパーフレーム工法®について

NSF工法とは、新日鉄が「薄板軽量形鋼告示」に則り、独自の開発により防耐火(1時間耐火認定)・遮音・温熱性、耐久性など諸性能を大幅に向上させた枠組壁工法。

また、外壁パネルおよび床パネルの構造面材、外壁材に高炉スラグを主原料とした窯業系面材を使用しており、躯体

構造用の薄板軽量形鋼とともに、主要構造に循環環境型部材を活用した環境適合型工法でもある。鉄骨構造と外張断熱通気工法の組み合わせにより、耐久性・耐震性・省エネルギー性などの住宅性能において、優れたパフォーマンスを発揮する。

紀尾井ホール (財)新日鉄文化財団 8月・9月主催・共催公演から <http://www.kioi-hall.or.jp>

8月31日 紀尾井の室内楽 vol. 8 <クァルテットの饗宴 2008 >

Pioneer Classic Special Concert

出演：パノハ弦楽四重奏団

曲目：ハイドン 弦楽四重奏曲第42番、

シュベルト 弦楽四重奏曲第10番 ほか

9月3日 新日鉄プレゼンツ 紀尾井ニュー・アーティスト・シリーズ

第12回 岡崎慶輔 (ヴァイオリン)

出演：岡崎慶輔 (Vn)、伊藤恵 (Pf)

曲目：モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ 長調、

ブラームス ヴァイオリン・ソナタ第3番 ほか

12日 日本音楽のかたち 25 近代長唄の響き その1 明治期【邦楽】

出演：徳丸吉彦、稀音家義丸 (対談)、今藤美治郎、杵屋勝三郎、

杵屋勝国、杵屋五三郎、杵屋巳紗鳳、松永忠五郎 (三味線)、

今藤文子、杵屋禄三、杵屋喜三郎 (唄) ほか

曲目：「新曲浦島」「松の翁」「網館之段」「虎狩」

20日 紀尾井の室内楽 vol. 9

ドイツ・ピアノリズムの威光 ベーター・レーゼン ベートーヴェンの真影

ピアノ・ソナタ全曲演奏会 第1回

出演：ベーター・レーゼン (Pf)

曲目：ベートーヴェン ピアノ・ソナタ第20番、

第17番「テンペスト」ほか

26、27日 紀尾井シンフォニエッタ東京 第66回定期演奏会

出演：ユハ・カンガス (指揮)、ベーター・レーゼン (Pf)、

紀尾井シンフォニエッタ東京 (Orch)

曲目：ベートーヴェン ピアノ協奏曲第5番「皇帝」、

シベリウス トウオネラの白鳥、モーツァルト 交響曲第40番

お問い合わせ・チケットのお申し込み先：

紀尾井ホールチケットセンター TEL 03-3237-0061 (受付 10時～18時 日祝休)